



No.38

平成27年7月21日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



きのこの森 (写真提供: クラブ撮子 猿橋 純氏)

Contents

● 新しい議会構成が決定.....	2
● こんなことが決まりました.....	4
● 委員会審議.....	6
● 議案審議結果.....	8
● 町政ここが聞きたい! (6月定例会).....	9
● 活動報告.....	14
● あれからどうなったの?.....	15
● 輝く人.....	16

構成が決定

ました。また、5月8日の臨時会で、正副議長の人事や委員会構成などが決まりました。

論議を十分に果たし

町政の発展に全力を尽くす



おおい町議会 議長

古石 實

このたびの平成27年第3回臨時議会におきまして、議員各位のご推挙により第7代おおい町議会議長に就任いたしました。

もとより、浅学菲才の身である私にとりまして大変光栄でありますとともに、身の引き締まる思いでございます。

さて今日、町においては、人口減少問題、高齢化の問題、空き家の問題、働く場創造の問題など、数多くの課題が山積しております。

また、国においては「まち、ひと、しごと創生法」による総合戦略を取りまとめ、地方の活性化に向けた取り組みを強化しており、町においても今年度中に5カ年間の地方版

総合計画を作成しなければなりません。

そのような中で、町では課題解決に向けた指針としての第2次総合計画の策定や具体的施策の展開に努力されておりますが、それら施策に対して、二元代表制にふさわしい自主的な決定と責任が求められる議会において、理事者側との論議を十分に果たすとともに、議員間討論をも積み重ねるなかで審議し、町政の健全な発展に全力を尽くして参る所存でございます。

町民の皆様には今後とも町議会の活動につきましてもご理解を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。



新しい議会構成が決定

新しい議会

任期満了に伴う町議会議員一般選挙が4月26日に行われ、新しい議員14人が決まり

その他委員会

議会運営委員会
 委員長 猿橋 啓一
 副委員長 松井 榮治
 委員 中本 正美
 森内 茂
 森上 雄一
 尾谷 和枝

常任委員会

予算決算常任委員会
 委員長 尾谷 和枝
 副委員長 中本 茂
 委員 辻 徹
 松井 榮治
 森内 正美
 今川 直樹
 今川 雄一
 猿橋 啓一
 森上 精治
 藤原 義隆
 早川 正己
 原田 和美
 細川 正博

産業建設常任委員会
 委員長 猿橋 啓一
 副委員長 尾谷 和枝
 委員 早川 正己
 辻 徹
 尾谷 和枝
 森上 精治
 猿橋 啓一
 浜上 雄一

総務常任委員会
 委員長 中本 正美
 副委員長 森内 茂
 委員 松井 榮治
 古石 實
 今川 直樹
 藤原 義隆
 原田 和美
 細川 正博

議長 古石 正美
 副議長 森内 茂

一部事務組合議会等

嶺南広域行政組合議会
 議長 古石 啓一
 議員 猿橋 啓一

若狭消防組合議会
 議長 辻 徹
 議員 早川 正己

公立小浜病院組合議会
 議長 森内 正美
 議員 尾谷 和枝

福井県後期高齢者医療広域連合議会
 議長 古石 實

おおい町監査委員
 監査委員 松井 榮治

おおい町農業委員会委員
 委員 細川 正博
 委員 森上 雄一

特別委員会

原子力発電対策特別委員会
 委員長 松井 榮治
 副委員長 中本 正美
 委員 森内 茂
 今川 直樹
 今川 雄一
 猿橋 啓一
 森上 精治
 尾谷 和枝
 辻 徹
 藤原 義隆
 早川 正己
 原田 和美
 細川 正博

広報特別委員会
 委員長 猿橋 啓一
 副委員長 尾谷 和枝
 委員 早川 正己
 藤原 義隆
 原田 和美
 細川 正博

新しい議会構成が決定



本郷地区浸水被害防止工事着工

第3回臨時会(5月8日)では、議会の構成を決定したほか、工事請負契約2件を原案どおり可決し、教育長の任命や監査委員の選任などに同意しました。

第4回定例会(6月8日~6月23日)では、一般会計補正予算専決処分の承認1件、町が出資している法人の報告など報告7件、一般会計補正予算などの議案7件がそれぞれ審議されました。

第3回
臨時会

教育長に中川和博氏を任命

■教育委員会教育長と教育委員会委員を任命

任期満了等に伴い、次の方が新たに選任され、議会も同意しました。

●教育長

中川 和博 (鹿野)

【全会一致・同意】

●委員

高木美保子 (岡田)

【全会一致・同意】

■固定資産評価審査委員会委員を選任

任期満了に伴い、次の方が新たに選任され、議会も同意しました。

●委員

山下 利憲

(名田庄井上)

新谷 省三 (大島)

成瀬源太郎 (久保)

【全会一致・同意】

■監査委員の選任

委員(議員のうちから選任)の任期満了に伴い、

次の方が新たに選任され、議会も同意しました。

松井 榮治 (広岡)

【全会一致・同意】

■工事請負契約の締結

●漁業集落環境整備工事

宮留の道路拡幅工事を行うもので、(株)こんどうと5508万円で契約するもの。

【全会一致・可決】

●名田庄体育館耐震補強工事

体育館の耐震補強工事を行うもので、(株)こんどうと1億5044万4千円で契約するもの。

【全会一致・可決】

■専決処分の承認

●町税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。

●国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。

【全会一致・可決】

「主な改正内容」

区分	基礎課税	後期支援金	介護納付金	合計
現行	51万円	16万円	14万円	81万円
改正	52万円	17万円	16万円	85万円

基礎課税額及び後期高齢者支援金課税額を1万円、介護納付金課税額を2万円引き上げる

第4回
定例会

大飯中学校グラウンド
改修工事着工

■専決処分の承認

●一般会計補正予算(第1号)

福井海区漁業調整委員

会の委員辞職に伴う補充選挙に係る経費で、平成27年5月25日に福井県選挙管理委員会において、選挙期日等が決定したことにより、補充選挙の執行経費として、132万8千円を追加計上したものと。

【全会一致・可決】

■報告事項

町から議会に次の報告がありました。

●平成26年度一般会計繰越明許費繰越計算書

おおい町が出資している4株式会社(下表参照)、公益財団法人グリーン大飯農業公社、おおい町土地開発公社の経営状況

平成26年度決算

単位：円

企業名	売上高	営業利益		経常利益	従業員数(人) (平成26年度末)
		うち委託料・補助金収入	営業利益		
(株)おおい	712,135,037	298,471,092	7,877,929	7,955,892	118
(株)名田庄商会	244,402,425	69,911,722	8,879,811	10,092,446	29
わかさ大飯マリンワールド(株)	38,055,790	64,186,900	-11,030,117	-12,200,032	3
(株)名田庄ウッディーセンター	29,371,315	13,323,115	2,003,352	2,173,946	3

こんなことが決まりました

18区画

三重宅地分譲地造成工事着工

■嶺南広域行政組合同規約の変更

管理者の交代（敦賀市長→小浜市長）により、事務所的位置及び会計管理者の変更が必要となるが、組合運営を円滑かつ効率的に行いたいので、規約の変更を行うもの。

【全会一致・可決】

■工事請負契約の締結

●**総合運動公園埋設配管（汚水・雨水）改修工事**
総合運動公園内の既設の雨水、汚水配管が、地盤沈下等により十分な機能を果たせていないことから、改修工事を行うもので、(株)荒木と7527万6千円で契約するもの。

【全会一致・可決】

●浸水被害改善施設整備（その1）工事

本郷地区における海面の満潮時、また、台風等の豪雨による集落内への

浸水被害を防止するため、排水機能の改善を行うもので、(株)荒木と3億8988万円で契約するもの。

【全会一致・可決】

●道路改良工事

本郷地下道における冬の路面凍結や、雨天時の歩行者等の通行の安全を図るため、シールドターを駅と国道側に設置する等の改修工事を行うもので、(株)時岡組と1億7820万円で契約するもの。

【全会一致・可決】

●三重宅地分譲地造成工事

名田庄三重地係で、8686㎡の造成地に、18区画の分譲地と公園用地を整備するほか、道路工、排水路工などを行うもので、八峯建設(株)と8100万円で契約するもの。

【全会一致・可決】



造成工事が始まる三重宅地分譲地

●大飯中学校グラウンド改修工事

暗渠排水の追加、グラウンド表面の真砂土の入れ替え、グラウンド外周にランニングコースを整備、プールを撤去し、跡地に人工芝テニスコート2面を整備、屋外トイレの新設を行うもので、(株)時岡組と2億9030万4千円で契約するもの。

【全会一致・可決】

■平成27年度6月補正予算

正予算

●3416万8千円

増額

総額134億5760万5千円

【全会一致・可決】

□一般会計補正予算

【主な歳出】

○コミュニティ助成事業
川上自治会を取り組んでいる水資源と水車を活かした地域づくりに伴う発電設備や、搾油機等の導入に対し補助するもの。

160万円

○水田農業大規模化・園芸導入事業

○くだもの産地育成事業

芸導入事業

○くだもの産地育成事業
(株)青戸ベイサイドビルズが行う観光果樹園整備費用のうち、町と県がそれぞれ1/3を補助するもの。

2666万6千円

○橋梁維持補修事業

明神橋の目地補修工事を行うもの。

115万円

○河川維持補修事業

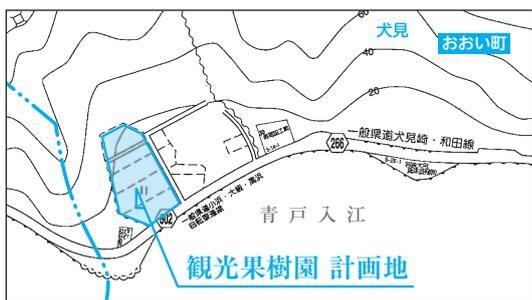
野尻川護岸のかさ上げ工事を行うもの。

130万円

○放課後子ども教室推進事業

本郷子ども教室の事業形態を、町の直営から事業者委託に変更すると伴に、実施日の拡充等を行うもの。

126万3千円



こんなことが決まりました



慎重に チェック

委員会 審議 (第4回定例会)

総務常任委員会

■付託審議内容

定例会で付託された議案3件を審査し、原案のとおり可決した。

●議案43【嶺南広域行政組合規約の変更】

■主な質疑

問 規約変更に係る協議は、関係市町の

議会が一つでも否決した場合、県知事に申請できないのか。

答 一つの市町でも否決されると、県知

事への許可申請はできない。

問 小浜市に事務所が

移転となるが、事務所の位置等は事前に協議されているのか。

答 候補地がどこだと

いうのは、今、話をすることはできないが、来年度に向けて、内部的にしっかり取り組むことは間違いない。

●議案45【総合運動公園埋設配管改修工事】

■主な質疑

問 路面の凸凹の改修が行われるが、野球場や図書館などの施設

と路面に大きな段差がある。それらも一体的に解消されるのか。

答 凸凹の激しい箇所は補修し、建物との段差についても極力修正し、安全に配慮する。

問 これまでの調査に相当な時間とお金を掛けてきたが、これだけ大きな工事となると、

数年後に一部が沈下したからと言って再度工事をするのでは納得できるものではなく、恒久的に安心な工事を求める。

答 沈下がある程度納まった時期に対策を行わないと、二重投資になることを踏まえ改修計画を立ててきた。沈下

データを踏まえ、今回の

工事内容、方法で十分な対策がとれるとの判断のもと、当該工事を計画した。

●議案49【大飯中学校グランド改修工事】

■主な質疑

問 工事に伴いプールは撤去されるが、

学校にプールを設置する規定などはあるのか。

答 学習指導要領では、必ずプール授業をしなければならぬというのではないと聞いているが、フィットネス

センターでプール授業を実施する。

問 岡田の道からグラウンドに上がれる

階段がある。学校への避難通路ともなるが、勾配

も急で一段一段が大きく上りにくい。勾配を緩やかにし、上りやすくなるのか。

答 頂いた意見については考慮する。

産業建設常任委員会

■付託審議内容

定例会で付託された議案3件を審査し、原案のとおり可決した。

●議案46【浸水被害改善施設整備(その1)工事】

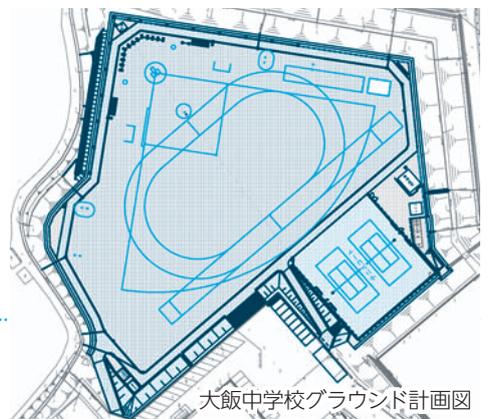
■主な質疑

問 貯留槽は1780m³だが、降雨強度

と集水面積はどれぐらいか。

答 区域面積は8・6ha。雨量計算は、

県の解析による降雨強度によって計算しており、



大飯中学校グラウンド計画図

時間あたりの降雨量47ミリを基準として算定している。雨が降り出すと貯水槽に雨水が集まり7分後に排水ポンプが動き出す。

問 その1工事となつ

ているが、工事はまだ続くのか。

答 地形的な理由から、一つの貯留槽

に集水することができず、整備区域を分ける必要が生じたことから、その1・その2工事とした。

問 貯留槽の上を何か

利用する計画はあるのか。

答 当該工事での計画

はないが、現在14区の方に管理してもらっており、区民の方からは、管理は行うけれども、草が生えないように

することや、風光明媚な所なのでベンチ設置等の要望もある。完成後に土地の上を利用することを現在考えている。

問 工事箇所の横には町道船岡白浜線がある。この町道は交通量も多いと思われるが、通行止め等の安全対策はどうか。

答 町道船岡白浜線は通行量もかなり多いので、通行止めにはせざる、片側通行とし工事を進めたいと考えている。

議案47「道路改良工事（本郷地下道）」
問 地下道の天井はかなり低いですが、そのままか。

答 天井の高低は変えられないので、現状の高さを維持し、天井路面等の改修を行う。

問 シェルターにたまった雪の除雪方法は。

答 J Rの敷地であり、J Rから、雪を落とさないようにと要請されたので、雪止めを設置する。

問 シェルター設置工事中に、照明があがっているが、既存の照明を明るくする工事は、今回入っていないのか。

答 シェルター部分以外の既存照明は、全てLEDに取り換える。以前から防犯カメラが設置されているが、どのように管理しているのか。

問 防犯カメラは平成22年度に設置し、観光協会が管理している。常時見ながら管理しているのではなく、人の動きを感じて録画が始まり、後にその画像を確認するものである。

問 工期は長いですが、その間の通行はどうか。

答 どうしても通行止めとなる場合もあると思うが、通勤・通学等でかなりの利用がある地下道なので、通常は片側通行とし、通行止めにするのは極力さげたい。



改修される本郷地下道

予算決算常任委員会

土木

付託審議内容
定例会で付託された議案1件を審査し、原案のとおり可決した。
●議案44「一般会計補正予算（第2号）」

問 老朽化等による橋の補修では、社会

資本整備総合交付金（国補助）の対象となるが、対象の条件や基準は。

答 延長15m以上の橋で、町の橋梁長寿命化計画にあるものが対象である。

問 延長の規定だけで、町の長寿命化計画に入れば、この交付金が使えるのか。

答 長寿命化計画は、町内全域15m以上の橋梁を調査し、計画的に改修工事を行うものである。15m未満の橋梁については、今年度から国の指導により目視による点検業務が対象となる。

問 橋梁維持補修事業で、明神橋の目地補修は昨年実施したのではないのか。

答 以前から緊急的な処置を行ってきたが、通行量が多く損傷が激しいため、今回、耐久性の高いドーロガード工

問 文化財保護事業の伝統的民家群保存活用推進補助金は、1市町に1カ所などの実施条

法という特殊な工法で補修する。

社会教育

問 子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業の国庫委託金は、次年度以降も継続されるのか。

答 この事業は、地元での自然環境等を生かした体験活動を促進するため、おい町の魅力あるスポットが一目でわかるマップ制作を、地元小学生、地元各種団体等から情報収集の協力を得て世代間交流を図りながら行うものである。初年度は大飯地区で進め、次年度に名田庄地区、3年度に実践活動等を行う。国庫委託金の適用は初年度のみである。

問 文化財保護事業の伝統的民家群保存活用推進補助金は、1市町に1カ所などの実施条

問 町内にある伝統的な民家や建物を残すなど、もっと活用する考えはないのか。

答 今回の事業は、県の指定条件として1集落に10戸以上であるが、その件とは別に観光資源としてアピールするなど、前向きに検討する。県の事業も受動的でなく、いかに活用するかという目線で取り組んでいきたい。

問 今回の事業は、県の指定条件として1集落に10戸以上であるが、その件とは別に観光資源としてアピールするなど、前向きに検討する。県の事業も受動的でなく、いかに活用するかという目線で取り組んでいきたい。

■平成27年第3回（5月）臨時会 議案審議結果

議案番号	議案名	議決結果
—	議長の選挙	当選
—	議席の指定	指定
—	副議長の選挙	当選
—	常任委員会委員の選任	選任
—	議会運営委員会委員の選任	選任
—	嶺南広域行政組合議会議員の選挙	当選
—	若狭消防組合議会議員の選挙	当選
—	公立小浜病院組合議会議員の選挙	当選
—	福井県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	当選
発議 1	原子力発電対策特別委員会設置に関する決議について	原案可決
発議 2	広報特別委員会設置に関する決議について	原案可決
—	農業委員会委員の推薦	推薦
承認 1	専決処分の承認を求めることについて（おおい町町税条例等の一部を改正する条例）	承認
承認 2	専決処分の承認を求めることについて（おおい町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
議案41	工事請負契約の締結について（漁業集落環境整備工事）	原案可決
議案42	工事請負契約の締結について（名田庄体育館耐震補強工事）	原案可決
同意 1	教育委員会教育長の任命について	同意
同意 2	教育委員会委員の任命について	同意
同意 3	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
同意 4	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
同意 5	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
同意 6	監査委員の選任について	同意
—	常任・特別・議会運営委員会の閉会中の継続調査	閉会中の継続調査

■平成27年第4回（6月）定例会 議案審議結果

議案番号	議案名	議決結果
承認 3	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度一般会計補正予算（第1号））	承認
報告 1	平成26年度一般会計繰越明許費繰越計算書	報告
報告 2	株式会社おおいの経営状況報告について	報告
報告 3	株式会社名田庄商会の経営状況報告について	報告
報告 4	わかさ大飯マリンワールド株式会社の経営状況報告について	報告
報告 5	公益財団法人グリーン大飯農業公社の経営状況報告について	報告
報告 6	株式会社名田庄ウッディーセンターの経営状況報告について	報告
報告 7	おおい町土地開発公社の経営状況報告について	報告
議案43	嶺南広域行政組合規約の変更について	原案可決
議案44	平成27年度一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案45	工事請負契約の締結について（総合運動公園埋設配管（汚水・雨水）改修工事）	原案可決
議案46	工事請負契約の締結について（浸水被害改善施設整備（その1）工事）	原案可決
議案47	工事請負契約の締結について（道路改良工事（本郷地下道））	原案可決
議案48	工事請負契約の締結について（三重宅地分譲地造成工事）	原案可決
議案49	工事請負契約の締結について（大飯中学校グラウンド改修工事）	原案可決
—	議員派遣報告および議員派遣	報告および派遣

6月定例会では、5人の議員が一般質問を行いました。

人口減少対策における課題のひとつ「住まいの確保」について

町長 町の将来を見据えた総合的なまちづくりの観点に立ち、考えや施策などは、町民の意見や審議会での議論を基に策定する



辻 徹

問 人口減少対策における課題のひとつである「住まいの確保」に対する町長の考えや、それに伴う施策は。

答 (町長) 住まい確保は空き家対策を含め、人口減少問題を検討するうえで重要な施策のひとつである。

昨年度から大島南浦地区の宅地分譲の募集をスタートしており、本年度は名田庄三重地区での住

宅用地造成事業を行うほか、U・ターナー者への支援制度の創設を行うこととしている。

問 人口減少問題はU・ターナー者の定住化、学業を終えた若者が都会に出ることなく地元で定住することをどう実現するかである。少子高齢化問題と合わせ、子育て世代の定住人口増加の促進や、若年層に特化した住宅対策の検討が必要では。

答 (町長) 若年層の流出を防止することや、U・ターナーを促進することによって人口減少対策になるので、第

2次おい総合計画策定の中で、年齢別人口構成のアンバランスの解消も含め、検討していく。

きのこの森の再整備計画について

副町長 事業詳細は検討委員会を開催し決定する

問 きのこの森再整備計画の進捗状況は。

答 (副町長) ※「ふるさと創造プロジェクト」の中で、県の事業採択を受け計画したものであり、事業実施については、本年度から平成29

年度までの3年間を予定し、出来るだけ早い時期に検討委員会を開催し、事業内容の詳細等を協議する。併せて、町単独事業を含む工事関係も、今年度中に実施設計を行い、来年度に工事を行いたい。

問 6月3日付の福井新聞に「おいキノコ満喫プロジェクト」の記事が掲載された。

「ふるさと創造プロジェクト」への申請には、地元住民や若者が参加した検討委員会を設けて、あらかじめその意見を反映した実施計画を策定することとなっているが、先ほどの答弁では早い時期に検討委員会を開催することのことが、公表する前に検討委員会を立ち上げるべきではないか。

答 (副町長) 掲載された記事は、県の補助事業の採択を受けるための計画概要であり、昨年度の委託業務の中で地域住民や、利用者の意見を参考に取りまとめたものである。事業詳細は検討委員会を開催し決定する。

け増えて賑やかになっただけでは何にもならない。町外の人にお金を使ってもらって初めておい町の経済にプラスになるが、町長の考えは。

問 きのこの森を再整備し、交流人口だ

答 (町長) 町外の方に滞り時間を長くしてお金を落とす頂きながら町の活性化につなげていくという視点は重要である。町の様々な施設を周遊して頂くようなPRの仕方を含め、今後検討していく。



再整備の計画策定が進むきのこの森

※「ふるさと創造プロジェクト」地域資源を活用し、オンリーワン、ナンバーワンのふるさとづくりを行う取り組みに対し財政支援などを行う、福井県のプロジェクト。

介護予防・日常生活支援総合事業の実施に向けての取り組みについて

町長 平成29年4月からの事業実施に向けて、関係する方々との「協議体」を立ち上げ、サービス内容や体制づくりを検討していく



原田 和美

問 介護保険法が改正され、要支援認定者や支援が必要な高齢者へのサービスが変わることになる。町はどのような視点からこの事業に取り組んでいく考えか。

答 (町長) おおい町では、新しい「介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)」を平成29年4月から実施する予定である。今後、サービス事業者や社会福祉協議会等の関係団体を中心

に「協議体」を立ち上げ、支援が必要な方へのサービス内容やサービス提供体制の整備について検討し進めていく。

問 「協議体」の役割は、具体的にはどのようなものか。

答 (介護福祉課長) 「協議体」は地域の方々の生活状況や意見を参考に、地域の実情に応じた新しいサービスや、今あるサービスとの組み合わせ、また提供できる体制をどのように作っていくかを検討していく。今年度4回程度、来年度にも数回開催し、来年度の終わりには、「総

合事業」の内容を示せる予定である。

問 法改正による事業の変更について、サービス利用者への周知はどのように行うのか。

答 (介護福祉課長) 利用者の担当ケアマネージャーや地域包括支援センターから、詳しく説明を行っていく。

問 「総合事業」の実施にあたり、サービス事業者や行政の各課の連携はどのように図っていくのか。

答 (介護福祉課長) 「協議体」に参画する構成メンバー間の連携に努め、推進していく。(町長) 役場内の各課

の連携については、必要に応じ、プロジェクトチームや、ワーキンググループを立ち上げて有効に機能するように対応することも考えていく。

問 「総合事業」に必要な、地域の担い手育成、組織づくり、マンパワーの確保についてはどのように進める考えか。

答 (町長) この事業はもとより他の分野においても、人づくりは参加型のまちづくりには必要。生涯学習事業の取り組みの中で、広い分野での人づくり、裾野を広げるように進めることも考えていく。また、対話を進め、まちづくりへの参画や前向きな意識を持つていただくように取り組んでいく。

問 介護予防事業の推進が、地域の活性化や「まちづくり」につ

ながる。「まちづくり」という面からの取り組みについてどう考えるか。

答 (町長) 健康寿命を延ばし、いきいきと生活していたり、

が、ひいては、まちづくりにつながり、結果的に介護給付費、医療費の

抑制につながると認識している。人と生活について総合的に考慮し広く事業に取り組んでいく。



小規模多機能ホーム「びわの木」でのサロン活動

「地方版総合戦略」策定作業について

町長 今年度中に「おおい町総合戦略」を策定し、併せて平成29年度を目標年度とする「第2次おおい町総合計画」を策定する



森内 正美

問

3月議会の施政方針で「地方版総合戦略」の策定に着手すると述べられているが、その後の経過と今後の策定計画は。

答

(町長) 総合戦略、総合計画のどちらの計画においても策定に係る作業量が膨大となることから、コンサルタント業者への委託を考えている。

6月11日に、指名業者3社によるプレゼンテーションを実施し、近日中

に業務発注し、今後の進め方やスケジュールの調整等を行っていく。

併せて総合戦略策定の体制づくりについても総合計画と連携した体制を整え、策定会議等の準備を早急に行う。

問

「第2次おおい町総合計画」は、今後10年の町の大事な骨格となる総合計画なので、総合戦略とは分けて考えるべきであり、総合戦略を年度内に策定するために人口や産業に係るデータ分析や、住民のアンケートは早急に行うべきだがどう考えているか。

答

(総合政策課長) 議論を重ね、総合戦略は年度内に策定する。

問

コンサルタント業者からのプレゼンテーションはどのような内容か。

答

(総合政策課長) 今後の人口推移や今後5年の基本戦略の計画等、細かな内容であった。

問

戦略策定に向け、各課の課長補佐がワーキンググループをつくり議論を重ねたと聞いているが、その報告書を見て町長の考えは。

答

(町長) 174件の提案があり、今後、課長級で協議を進めて行く。

町の特異性を出して、一次産業の担い手育成、U・イーターン、企業誘致

などの施策を考えている。

問

総合戦略策定委員の構成は。

答

(総合政策課長) 各世代の住民、金融、メディア、議会、学者などの幅広い分野の方で構成する予定である。

町政施行10周年記念事業について

副町長 記念式典を平成28年1月31日に開催

問

記念式典の開催時期、場所などは決まっているか。

答

(副町長) 平成28年1月31日に開催予定だが、場所については未定である。

問

航空写真人文字撮影について、いつどこで行うのか。

答

(副町長) 町民体育大会の会場で開催

影できればと考えているが、人文字以外も視野に入れて検討している。

問

スーパード火勢の予算増額での新事業内容は。

答

(副町長) 最終決定ではないが、花火の増発（例年6千発だが1万発）、人工降雪機による夏に雪を降らす企画、ステージショーなどを企画している。

問

大火勢は町の一大イベントであり、おおい町の魅力を県外に発信するためには良い機会である。県外の若者たちの呼び込みなどは。

答

(町長) イベントイーターなどサポーターなどの県外の若者を募集したり、リピーターを増やすために実行委員会と連携す

る。

問

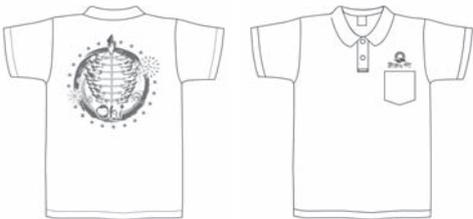
記念ポロシャツの製作の目的と進捗状況は。

答

(副町長) 町職員や商工会等の職員が着用し、一般の方にも販売することにより、町の一体感を創出し、町を広くPRして町への愛着を深めるものであり、すでに業務の発注を行った。

指摘

町政施行10周年という記念すべき年だが、おおい町自体が盛り上がりにかけている。行政がもっとアピールしなければならぬ。庁舎に横断幕などを掲げ住民に広く周知してもらうなどの対策が必要である。



記念ポロシャツ

町政ここが聞きたい！

町民参加型のまちづくりについて

― 官民一体となった協働体制は ―

町長

対話と相互理解を重視した町民参加型のまちづくりを進めるために官民連携し、財政的支援や側面的な支援を行っている



尾谷 和枝

問

「おい町元気なまちづくり支援事業補助金」制度の活用状況は。

答

(町長) 第1次おい町総合計画に掲げる、「みんなで取り組むプロジェクト」を、推進するために交流・定住の促進が図られる活動や、町の活性化に寄与する活動を補助対象とする「おい町元気なまちづくり支援事業補助金」を交付している。

問

官民一体の活動に対し、応援体制をどのようにし、まちづくりに生かすのか。

答

(町長) 対話と相互理解を重視した、大火勢など官民連携した各事業への財政的支援、情報の収集や提供、PRなどの側面的な支援を行っている。支援制度自体は充実しているが、十分に生かしている面や、制度的に不足している部分もある。今後、更に有効活用できるように検討

問

協働には、住民発案の事業を支援するものと、計画段階から行政と一緒に事業をつくるものがある。

答

(町長) 町民が計画段階から関わり、より良いものになるよう、行政と町民が同一の目線で意識を変えながら改善し、どのように参画するのが良いか、それぞれの事業で考え、取り組む。

問

「空き家対策特別措置法」が5月に施行となったが、危険な空き家への対応は。

答

(副町長) 倒壊等著しく保安上危険とみなされた空き家を「特定空家等」と定め、除去や修繕等の指導、行政代執行の処置が可能となったが、代執行を行う際の障害は小さくない。他の自治体の事例等を参考にして適切な対応を検討していきたい。

問

空き家バンクへの公開や相談体制の整備、*ワンストップサービスの検討など、空き家を探している方への情報提供が必要であるが、空き家の活用体制は。

答

(総合政策課長) 今年度、空き家の

空き家対策は、法整備によってどう変わる

実態調査と所有者の意向調査を実施し、建物の写真等を記録した台帳を整備する。

また、今後、空き家を利活用しやすく、積極的に情報提供するシステムづくり、リフォームや他用途への転用、空き家の撤去等に対するの財政支援等、実効性のある対策を検討する。

全体的なまちづくりを含めて第2次おい町総合計画でも大きな問題として検討し、議論を重ねる。

ウォーキングを総合的に活用しては

青戸の入江と総合運動公園間の岡田川に橋がなく、幅30cmのコンクリート桁を渡るか、鉄塔横脇道を入るか、大変危険である。人が通れる橋があれば、長井浜うみんぴあ

答

(建設課長) 指摘箇所は、県管理の港湾施設で、歩道ではなく、橋の架設には県と協議し、国の許可が必要であり、総合運動公園施設の管理上の問題からも、現時点では困難である。

問

ウォーキング人口の高まりを総合的に活用し、健康づくり事業の推進や、観光パノレットでのウォーキングコースの紹介、また、登下校ルートに併せての見守り活動の実施や防犯マップへの反映など、町の魅力発信等につなげては。

答

(町長) 大変興味深いことであり、聞き取りや内部での検討を進め、今後の課題としたい。

*ワンストップサービス

関連するすべての手続きを1カ所で完了できるようにしたサービス

原子力災害時の住民避難計画について

町長 説明会や各種広報媒体等を通じて周知を図る。また、自治体間交流や住民同士の交流の推進に向けて検討を重ねる



中本 茂

問 町では地域防災計画に基づき「原子力災害時における住民避難計画」を策定し、ホームページで公表したが、安定ヨウ素剤は放射性ヨウ素による内部被曝に対する防護効果に限られるため、避難や室内退避等の防護措置と組み合わせる必要がある等の正しい知識を要するが、住民避難計画は住民に浸透しているのか。

答 計画は防護措置の実施区域を、発電所から5 km圏内のPAZと、その外側30 km圏内のUPZに区分し、避難や屋内退避等の防護措置をとる事としていた。避難手段や避難ルート、安定ヨウ素剤の緊急配布場所、スクリーンング候補地、集落別の避難施設、入院患者等の避難受入れ先などを明記し、町民の方々が安全に避難することができるよう関係機関と調整し進めてきたものである。

計画は防護措置の実施区域を、発電所から5 km圏内のPAZと、その外側30 km圏内のUPZに区分し、避難や屋内退避等の防護措置をとる事としていた。避難手段や避難ルート、安定ヨウ素剤の緊急配布場所、スクリーンング候補地、集落別の避難施設、入院患者等の避難受入れ先などを明記し、町民の方々が安全に避難することができるよう関係機関と調整し進めてきたものである。

昨年度、PAZの大島地区において6回の安定ヨウ素剤事前配布説明会を実施し、対象者の約7

割に事前配布を完了した。

原子力防災に関する知識を町民の方に正しく理解をしていただく事は非常に重要な課題と認識しており、昨年8月に開催された「福井県原子力防災総合訓練」には大島地区の皆さまに広域避難を体験していただいた。この訓練を通じて浮かび上がった課題を踏まえ、関係機関や町民の方との連携を深め、説明会や各種広報媒体等を通じて周知を図っていきたいと考えている。

問 町は災害時の避難計画には、避難計画の説明会や避難訓練をはじめ

各種媒体を通じ避難先施設や避難ルート等の周知を行うとともに、行政間の連携はもとより、住民同士の交流の推進に向けて検討を重ねる必要があると思うが。

行政間の連携や交流の推進については、昨年の一般質問において同様の質問を受けたが、県内避難受入れ先の敦賀市、圏外避難受入れ先の川西市や伊丹市についても担当

答 画の周知については、現在作成中の住民向けの避難マニュアルを全戸配布するほか、CATVの広報番組を通じて避難計画の中身を紹介することとしている。さらに、地区別の住民説明会の実施も検討しており、しかるべきタイミングで周知を図りたいと考えている。

部局間で避難計画の実効性確保に向けた協議・調整に取り組んでいるところである。町として、この避難計画の内容を充実させたいうえで、自治体間交流や住民同士の交流の促進に向け、検討を重ねたいと考えている。

部局間で避難計画の実効性確保に向けた協議・調整に取り組んでいるところである。町として、この避難計画の内容を充実させたいうえで、自治体間交流や住民同士の交流の促進に向け、検討を重ねたいと考えている。



安定ヨウ素剤事前配布説明会



県原子力防災総合訓練でのスクリーニング

第9回議会報告会を開催します

議会と話そう

おい町議会では、町民との意見交換を行い、議会の運営改善と政策立案に生かすため、また、町民に開かれた議会を目指すため議会報告会を開催します。

皆さまの意見をお聞かせください。

【内容】

- ① 町議会の活動報告
- ② 意見交換

平成27年8月1日(土)
14時00分～16時00分

【場所(2会場)】

はまかせ交流センター(大島)
里山文化交流センター(名田庄久坂)

平成27年8月2日(日)
14時00分～16時00分

【場所(2会場)】

総合町民センター(本郷)
ふるさと交流センター(鹿野)

議会報告会に参加、
議会傍聴で20ポイントをGet!



傍聴者にインタビューしました

よろこぶ議会に

6月定例会一般質問の傍聴に来られた方に感想をお聞きしました。

○小原きぬ子さん(岡田)

問 議会の傍聴は何回目ですか。

答 初めて来ました。

問 傍聴に来られたきっかけは。

答 前から興味があったのですが、地元の議員さんが質問すると聞いたので、近所の人と一緒に来ました。

問 傍聴された感想は。

答 議場に入ったのも初めてで、緊張しましたが、とても勉強になりました。もっと大勢に来てもらうといいのと思います。これからも機会があれば傍聴に来て話を聞きたいです。全員の質問を聞き取ったのですが、休憩がお昼ままだけだったので聞けなくて残念でした。テレビで再放送を見ます。

傍聴に来て、町のことが今までより身近になりました。

○匿名希望さん

問 傍聴は何回目ですか。

答 数回来ています。

問 議会傍聴の目的は。

答 議会に興味があり、テレビでは伝わらない臨場感を味わえるから。

問 一般質問はどうでしたか。

答 新人議員さんは少し緊張しているなど感じ、ベテランの議員さんは臨機応変に対応している感じがしました。

問 議場の雰囲気や、気づいたことはありますか。

答 議場の照明が暗く、傍聴席には透明の板があり、理事者側の表情があまり見えない。演壇での声が少し聞き取りにくく感じました。

問 傍聴に来てくれる方を増やすにはどうすれば良いと思いますか。

答 興味がないとなかなか来れないと思うので、魅力ある議会にしたいかなといういけない。

追跡

あれから どうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。



地域おこし協力隊員の採用計画は

町の魅力を第三者に発見してもらうことは意義がある。

(26年6月議会 猿橋啓一 議員)

商工観光振興課長

おい町の地域おこしに貢献できる人を採用

おい町に関心があり、地域おこしに貢献していただける人を採用したい。

どうなった？

和田 知樹氏、橋爪 英明氏 2人を採用

二人の勤務先は次のとおり。

- 和田さん (東京都出身) 道の駅・うみんぴあ大飯
- 橋爪さん (大阪府出身) 道の駅・名田庄



和田さん

橋爪さん



特別警報が表示される



災害に強いまちへの取り組みは

様々な媒体を活用し住民自らが避難判断するための情報改善策は。

(26年6月議会 尾谷和枝 議員)

町長答弁

町のホームページのシステム改修を行う

特別警報発表の際に町のホームページを活用し正確かつ確実な情報伝達体制を整え防災力の向上を図る。

どうなった？

特別警報が町のホームページに表示される

より正確な情報を早く住民に伝達出来るよう平成26年9月2日から特別警報がホームページに表示されるようになった。

あれからどうなったの？

かがや 輝く人

四季折々、 撮影して楽しみます。

クラブ撮子

代表 原田達夫さん

今回の「議会だより」から表紙の写真を担当させていただくこととなりました写真サークル「クラブ撮子」です。

「クラブ撮子」は、昨年5月から7月に開催した佐分利公民館のデジタルカメラ教室(全6回)の受講生を中心に写真好きな人からデジタルカメラ初心者までが集まり、昨年9月に発足しました。

現在、会員は11名で、講師に猿橋純さんをお招きし、佐分利公民館(ふ

るさと交流センター)を拠点に月1回、最終日曜日の午後に活動しています。

デジタルカメラの種類もコンパクトや、ミラーレス、デジタル一眼と様々ですが、毎月、テーマを決めテーマに沿った写真を各自で撮影し、活動日に持ち寄ります。持ち寄った写真を基に、撮影した際の意図や撮影方法、自己評価などを聞き、講師からのアドバイスを受け学習しています。

この他にも色の出し方、写真の構図、生き物などの動体、花火や風景写真の撮影テクニックの勉強、撮影場所や被写体の情報交換などを行っています。

今後は、撮影スポットでの撮影会や会員相互の交流を深める日帰り撮影旅行も計画しています。

まだ写真技術は初心者レベルですが、回数を重ね腕を磨き、写真コンテストや作品展などに積極的に参加・応募していきたいと思えます。



議会の傍聴に来てみませんか

おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会は9月です。傍聴について詳しくは議会事務局(77-4060)までお問い合わせください。

9月定例会
の予定

会 期：9月1日から29日まで(29日間)
本会議：1日(議案提案理由説明)、10日(一般質問)、29日(採決)
委員会：総務・産業建設常任委員会(3日)、予算決算常任委員会(1日・15日・16日)、原子力発電対策特別委員会(18日)

● 編集後記 ●

明るい話題を一つ。
昨年7月20日に全線開通した舞鶴若狹自動車道を利用して「さのこの森」や「道の駅つみんぴあ大飯」を訪れた人が増え、販売額が昨年より伸びたことは誠に嬉しいことです。「地産地消」の営みが出荷者の地道な努力によって実った成果であると理解していますし、「おおい町」へ行ってみようという関心が徐々に高まっている証拠でもあります。

さて、本年度は町制施行10周年の記念すべき年であると同時に、人口減少対策や第二次おおい町総合計画の策定などが進められる重要な年でもあります。私たちは、議会活動の内容を的確にお知らせし、読みやすい紙面づくりに取り組みますので、ご意見をお寄せください。

■ 広報特別委員

委員長	猿橋 啓二
副委員長	浜上 雄一
委員	藤原 義隆
〃	早川 正己
〃	原田 和美
〃	細川 正博

(猿橋 記)